

2017.12.13

「やさしい日本語」を使おう

日本で外国人に情報を分かりやすく伝える手段として「やさしい日本語」が注目を集めている。阪神・淡路大震災をきっかけに災害時の避難誘導に役

立ててもらおうと考案されたものだが、最近では日本の行政情報や生活情報の言い換えなど、さまざまな分野に活用が広がっている。

- 短く区切って話す
言い換え例 小さくて、軽い
▶ 小さい。そして、軽い
- 尊敬語・謙譲語を使い過ぎない
言い換え例 いつ日本にいらっしゃいましたか
▶ いつ日本に来ましたか
- 熟語はなるべく使わない
言い換え例 徒歩10分 ▶ 歩いて10分
- 具体的に伝える
言い換え例 身分証明書
▶ パスポートや在留カードなど
- 専門的な言葉は、日常的な言葉に言い換える
言い換え例 敷金
▶ 部屋を出るとき、悪いところを直すお金



「やさしい日本語」で話す主なポイント

英語よりも伝わらないうちから「やさしい日本語」

「やさしい日本語」は、外国人に分かりやすいように簡略化された日本語のこと。日本における外国人との意思疎

通の手段として活用する動きが広がっている。

各地の自治体や国際交流協会、防災情報や生活情報を「やさしい日本語」で発信したり、外国人向けの相談窓口などに導入。例えば横浜市は、一橋大学国際教育センターの庵功雄教授らの研究グループと協働で、公文書の行政用語

* 栃木県国際交流協会の資料(庵教授監修)を基に作成

自治体や国際交流協会 情報提供など活用広がる

を分かりやすく書き換える「ロシエクトを進めている。また、消防庁は2020年東京五輪・パブリックシンクに向けて、避難誘導などへの導入を始めた。

日本でも専ら定住外国人や訪日客の増加を背景に、行政や交通機関などで多言語による情報提供が進んでいるが、無数にある言語の全てに対応するのは難しく、多くの場合は英語が中心になっている。私たちが、外国人に一番伝わりやすいのは英語だと考えがちだ。

しかし、国立国語研究所の全国調査を分析した若田一成氏の論文によると、定住外国人の62・6%が日本語を理解しており、英語の44%や中国語の38・3%より多かった。つまり、定住外国人の場合、一番伝わりやすい言語は日本語という結果だった。

相手の立場を考える精神が重要
ただ、外国人が日本語を理解しているといっても自在に

外国人向けに表現簡略化

「やさしい日本語」は、外国人に分かりやすいように簡略化された日本語のこと。日本における外国人との意思疎通の手段として活用する動きが広がっている。

「やさしい日本語」は、外国人に分かりやすいように簡略化された日本語のこと。日本における外国人との意思疎通の手段として活用する動きが広がっている。

「やさしい日本語」は、外国人に分かりやすいように簡略化された日本語のこと。日本における外国人との意思疎通の手段として活用する動きが広がっている。

「やさしい日本語」は、外国人に分かりやすいように簡略化された日本語のこと。日本における外国人との意思疎通の手段として活用する動きが広がっている。

事などは技術ではなく、外国人がどういう状況で自分何求めているのかを感じることが「と強調している。

また、「やさしい日本語」は、日本人側が意識的に外国人が理解できる水準に合わせるところから始まる。外国人に気を使い過ぎているように見えるが、「やさしい日本語」は、自分の主張を相手に伝え、納得するための表現力を磨く良い機会にもなることを知っておきたい。